



# 埼玉キムチ新聞

第32号

2025年7月5日

販売会毎発行

(努力目標!)

kimuchi@saiai.net

## ■特別企画「へわたし」たちにとって大切な子どもたちのために ～埼玉朝鮮学校の補助金支給再開の署名～

現在、埼玉朝鮮学園学校は子どもたちの学ぶ権利を保障すべく、私立学校運営補助金の支給を再開することを求める署名活動を展開しています。署名への協力の呼びかけとして、2名の卒業生の「呼びかけのメッセージ」を紹介します。

●私は東京朝鮮中高級学校に通う高校三年生だ。埼玉朝鮮幼稚園の通い、幼い頃から朝鮮語「ウリマル」に触れて育ってきた。初級部に入学してから中級部を卒業するまでの6年間、民族教育を受けてきた。そして、今は二年目の民族教育を受けている。幼稚園から中学校の2年間、私にとってかけがえない大切な時間を過ごした母校が今もお補助金の不支給という差別を受けていることに対し、ものすごい怒りと悲しみを感ずる。確かに、今でも日本と朝鮮の間に政治的な問題は多く、緊張している状態かもしれない。しかし、それが補助金を停止する理由になるのだろうか。日本人が日本の学校で日本語や日本の文化と歴史を学ぶように、朝鮮人が朝鮮学校で朝鮮語や朝鮮の文化と歴史を学ぶことと何が違うのだろうか。

自分の民族やルーツについて正しく学ぶ。この当たり前のことが認められず、差別を受けながら生きていかなければならない社会に、今、私たちは立ち向かい、本来ならば必要のない「闘い」をし続けているのだ。

埼玉県が補助金を停止し続ける理由として、「朝鮮学校が不当な支配を受けている」を挙げている。結局のところ、「不当な支配」とはいったい何なのかについての明確な説明はなく、この言葉で差別を正当化する埼玉県の姿勢にはあきれられる。それだけでなく、そのような行政が、「埼玉県こども・若者基本条例」にあるような「人種・国籍等を問わず権利が保障される社会」を実現できるのかという疑問も抱く。私は朝鮮学校に通う高校生として、埼玉朝鮮初中級学校の卒業生として、朝鮮学校の学生が差別を受け続けることは絶対に許せない。民族教育を通して自身のアイデンティティを確立させてくれ、堂々と生きていくことを教えてくれた大切な学校。二度と出会うことのできないウリトナム（親友）たちと出会えた大好きなウリハッキョ

（私たちの学校）を私は必ず守っていききたい。私たちと同じ立場にいる後輩たちのためにも、必ず私たちの力でみんなが理解しあえる堂々と生きていけるそんな社会をつくっていききたい。／ウリン

●私は埼玉朝鮮幼稚園と埼玉朝鮮初中級学校の卒業生であり、現在は東京朝鮮中高級学校に通う高校三年生です。今も昔も私は「ウリ（私たち）」を育ててくれた、ウリハッキョ（私たちの学校）が大好きですし、共に学んだウリトナム（親友）はとても大切な友達です。私は大切なものを失いたくありません。もちろん、一人の高校生の文章で、補助金の問題が解決するとは思っていません。ですが、大切なものを傷つけないために、少しでも多くの方々がこの問題を知るきっかけになればと思い未熟ながら、この文章を書いています。私は初級部6年生の頃に英会話スクールに通い始めました。初めての授業での自己紹介で、私は朝鮮学校に通っていることを堂々と伝えませんでした。今思うと私自身の勇気がなかったとも感じますが、なぜ、自分が通う学校を紹介するとう当たり前のことを当たり前に言えなかったのでしょうか。そこには小さいながらも、「朝鮮学校に通っている」と言うと、差別されてしまうのではないかという意識があったからだと思います。私は、この様な経験を大切な後輩はもちろん、私と同じような立場の人に経験してほしいありません

「埼玉県こども・若者基本条例」の第3条のは「全てのこども・若者について、個人として尊重され、その基本的な権利が保障されること、人種、国籍、性別、障害の有無等による差別的取扱いを受けることがないこと」とありますが、その全てに私たち埼玉朝鮮初中級学校・幼稚園の子どもたちは含まれていますか。誰もが人種、国籍、性別、障害の有無等による差別的取扱いを受けることなく、暮らしているのでしょうか。差別に立ち向かい、日々活動を行っている日本の方々に、同じ日本人として恥ずかしいとは思いませんか。もう一度、胸に手を当てて考えてみてください。これからは私の暮らす埼玉県が誰もが「ありのまま」に暮らすことのできる街になることを願っています。／スナ

署名オンライン署名はこちら↓



### ★埼玉キムチについて★

2010年度末、埼玉県は、「財務の健全化」を口実に埼玉朝鮮学園への補助金の支給を打ち切りました。また、埼玉県議会は2012年に「拉致問題が解決するまで補助金の支給を行わない」という附帯決議を行いました。これは朝鮮学校に通う子どもたちとは何ら関係のない外交政治上の理由を持ち出すことによる不当な差別に他なりません。2018年度に県が財務状況について、「健全性が確認できた」と学校に通達した後も支給停止は続いています。このような非常に厳しい状況の中、埼玉キムチは少しでも学校運営に寄与するため、「利益全額カンパ」の活動を行っています。美味しいキムチとともに、朝鮮学校支援の輪が広がりますよう、ご協力よろしくお願い致します。